

テーマは
「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」

恵那産業 EXPO2023

市内企業が一堂に集まり、それぞれの魅力を伝えるイベント「恵那産業 EXPO2023」。地元企業による職業体験などを通じて、市内企業のことを深く知ることができます。

□とき 11月11日(土)午前10時～午後3時半

□ところ 市民会館・市役所駐車場

☎ 恵那産業 EXPO2023 実行委員会事務局（恵那商工会議所内）

☎ 26-1211

■企業ブース

名前を知っている企業の仕事内容だけでなく、今まで知らなかった魅力的な恵那の企業を知ることができます。企業の仕事を実際に体験することで、企業の魅力にも触れられます。

■はたらくくるま

普段近くで見ることができない働く車を間近で見ることができ、中には乗車体験ができる車もあります。今年のEXPOにはスーパーカーも勢ぞろいします。

昨年行われた恵那産業 EXPO

▼和菓子作りを体験



▼救急車の車内を見学



▼農高生が花を販売



▼油圧シャベルの乗車体験



▲高所作業車の乗車体験



■飲食ブース

キッチンカーや、市内の飲食店が集まります。恵那の食の魅力を味わうことができ、EXPO 限定メニューも用意しています。

■イベント

中高生対象の企業スタンプラリーや、高校生による吹奏楽の演奏があります。その他、中高生向けの企画を楽しめます。

コーヒーフェス、恵那まちなか市も同時開催
恵那の秋を満喫できます

えな栗フェス 2023

■えな栗フェス

□とき 10月21日(土)午前10時～午後3時

□ところ 恵那駅周辺エリア

※駐車場は市役所駐車場か、長島小学校グラウンドを利用ください

☎ (一社)恵那青年会議所 ☎050-5472-9555

□内容

フードコーナー

市内外の約30店舗が作る、栗を使ったジェラートやモンブランなどの洋菓子をはじめ、栗きんとんや栗ようかんなどの和菓子、栗ご飯など、さまざまなジャンルの栗を楽しむことができます。

トラックステージ

高校生によるダンスや太鼓の演奏、チアリーディングの他、お笑い芸人によるステージが行われます。

ワークショップ

栗きんとんを布巾で包んで形を作る、しぼり体験ができます。

キッズコーナー

射的や輪投げなど、子ども向けゲームコーナーもあります。

■コーヒーフェス

□ところ 中山道大井宿広場

□内容 たくさんのコーヒー店が出店します。えな栗フェスの栗スイーツと一緒に楽しむことができます。

■恵那まちなか市

□ところ 西銀座通り

□内容 市内の飲食店などによる食料品やハンドメイド品、菓子などを買うことができます。恵那東中学校の生徒によるお化け屋敷などの出店もあります。



▲地元のジャムや蜂蜜も販売



▲えな栗フェス Instagram



▲にぎわいを見せるまちなか市(令和5年5月)

令和4年度市の決算概要

財務課（内線335）
※数字は四捨五入しているため、合計金額などが合わない場合があります

歳出総額は501億円

一般会計に特別会計と企業会計を合わせた市の歳入総額は、513億6752万円。歳出総額は、501億3437万円でした。歳入額から歳出額を差し引くと、12億3315万円の黒字となりました。

一般会計の決算状況

歳入では、地方交付税が102億2991万円、歳入総額の31.6%を占めます。市税が73億6160万円（22.8%）、借金である市債は18億1560万円（5.6%）でした。歳出では、高齢者福祉や障

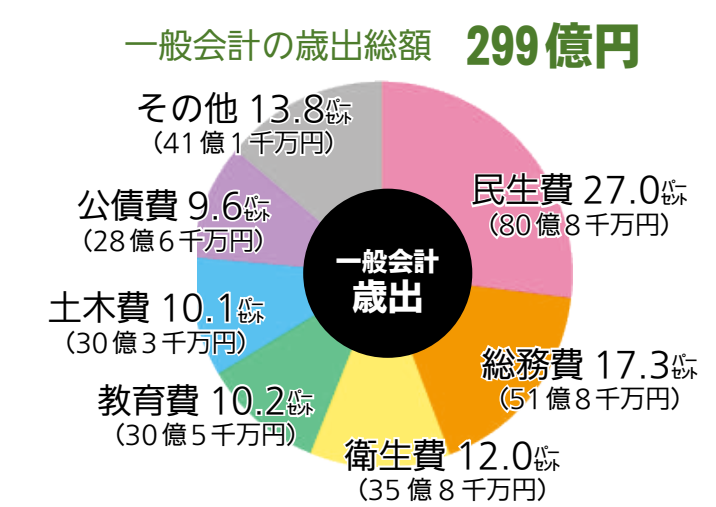
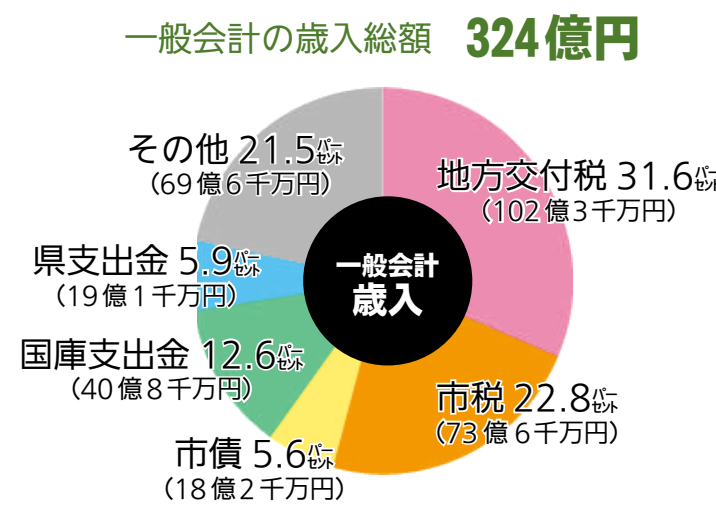
がい者福祉、生活保護などの福祉事業、こども園の運営、子育てのための手当の支給などの民生費が80億8465万円、歳出総額の27.0%でした。職員管理や地域活性化事業などを含む総務費は51億8002万円（17.3%）、借金の返済である公債費は28億

5569万円（9.6%）でした。借金は市民1人82万円。一般会計、特別会計、企業会計の借金の総額は388億8133万円、昨年度と比べて18億700万円の減額となりました。借金を市民1人当たり換算すると、82万2

711円です。※人口は、令和5年3月31日時点の4万7260人で換算。詳しくは、市ウェブサイトに掲載しています



市ウェブサイト 決算のページ



特別会計

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	52億1,619万円	51億4,319万円	7,300万円
介護保険事業	61億9,752万円	59億4,646万円	2億5,106万円
遠山財産区	177万円	169万円	8万円
上財産区	108万円	58万円	51万円
後期高齢者医療	8億1,654万円	7億9,330万円	2,324万円

企業会計

	収益的収支決算		資本的収支決算	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	17億622万円	16億8,458万円	4億8,063万円	10億6,285万円
下水道事業	18億8,428万円	18億4,540万円	5億3,266万円	10億4,268万円
病院事業	12億9,240万円	17億4,909万円	3億1,959万円	3億4,800万円
国民健康保険診療事業	4億9,971万円	4億9,343万円	6,273万円	1億2,521万円

恵那南地区の中学校

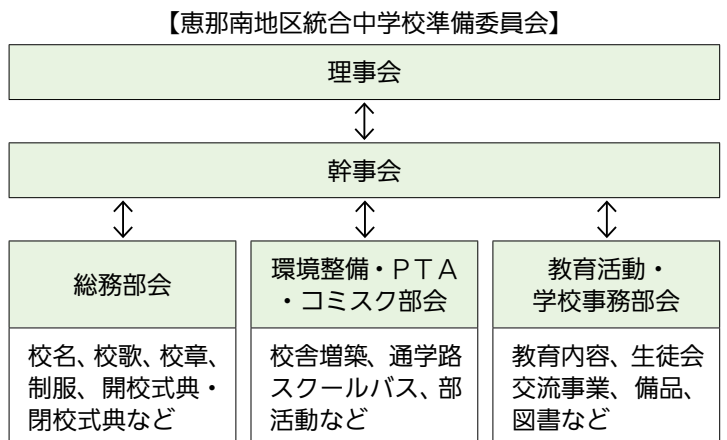
統合準備委員会の状況

5月31日、恵那南地区の中学校統合を進めるための恵那南地区統合中学校準備委員会が設置され、現在、さまざまなことが話し合われています。ここでは、恵那南地区統合中学校の開校に向けた、準備委員会の状況をお知らせします。

準備委員会
準備委員会では、子どもたちにとってより良い教育環境を整えることができます。これまでに、理事会と三つの専門部会（総務部会、環境整備・PTA・コミスク部会、教育活動・学校事務部会）が計12回開催され、活

発な議論が交わされました。専門部会では、グループに分かれて増改築に関するアイデアを出した他、増築場所に関する意見交換や、学校図書館の機能や役割についての話し合いが行われました。今後、統合中学校の学校名や校歌、スクールバスの運行ルートなどが話し合われます。

統合後の中学校
統合後の中学校では、生徒数は合計336人で、恵那東中学校413人、恵那西中学校369人に次ぐ規模となる予想です。また、各学年3〜4クラスの編制となります。



市教育委員会では、統合後の中学校の目指す姿を「未来をつくる」「人とつながる」「地域とあゆむ」をキーワードとしました。これには、多様な人と関わりながら、地域社会の将来を担う人材を育てたいという思いが込められています。この案を基に、どのような中学校を目指すのかについても、準備委員会で検討されています。

地域との連携
統合後の中学校では、地域との連携がより必要となってきます。中学校は、五つの地域に支えられながら地域を横に繋ぐ役割も担います。子どもたちの「ふるさとのエリア」を広げること、恵那南地域全体で五つの地域を維持存続させていくという意識の醸成を図ることを目指します。



市ウェブサイト 準備委員会のページ